

国際交流 Newsletter



編集・発行：白石市国際交流協会（白石市役所総務課内）TEL 0224-22-1331 FAX 0224-24-4861 EMAIL:koryu@city.shiroishi.miyagi.jp



ハロー！ ～世界の国からこんにちは！～

▶フィリピンってどこ？

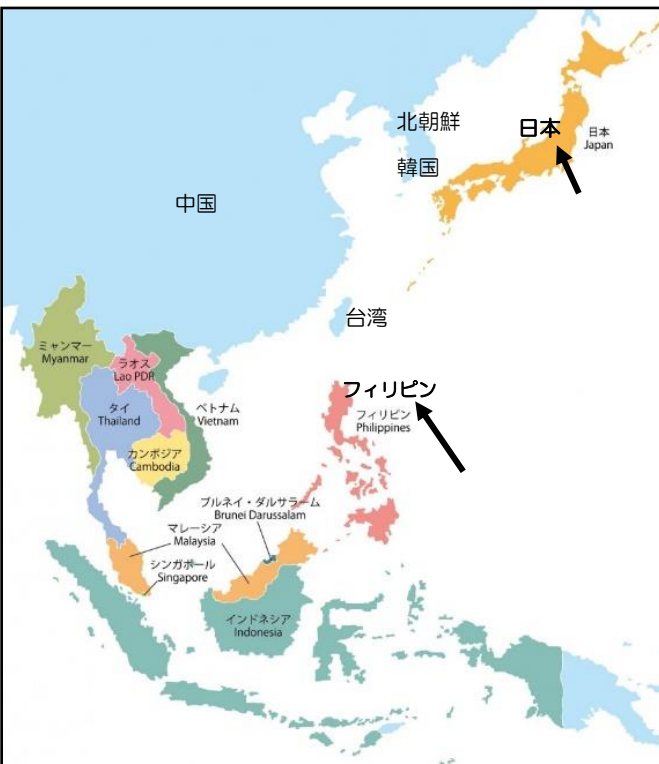
▶フィリピンいろいろ
気候、人口、自然災害、食べ物

▶教育制度

▶学校生活

▶フィリピンの現状は？

第1回 フィリピン共和国



✧案内人✧



フィリピンってどんなところ？

フィリピンは東南アジアに位置し、7,641の島々があり面積は約300,000km²、今年の人口は、109,581,078人。言語は180あり、母語として英語とフィリピン語の両方使っています。300年以上もの間スペインの植民地であったのでフィリピン語とスペイン語には似た単語がたくさんあります。植民地時代が今日のフィリピンの言語、文化や宗教に多大に影響を与えました。

フィリピンの気候・自然

フィリピンは熱帯気候で美しい自然とグルメの目的地として知られています。美しいビーチとサンゴ礁の他、山、洞窟、地下河川やその他たくさんの自然観光スポットがあるところとしても知られています。季節は乾季と雨季の2つ。乾季は11月から5月まで、雨季は6月から10月までです。台風のはほとんどが雨季にフィリピンの領土を襲います。



▲美しい！パラワン諸島のエルニド

フィリピンでの自然災害



▲2013年台風30号（ヨランダ）の時の被害

最大級の台風のひとつが、2013年の台風30号ハイエン（フィリピン名はヨランダ）でした。6000人以上が亡くなり1000人以上が行方不明との報告がありました。

被害額は94億6千万ペソ（日本円で200億円）に達しました。フィリピンは環太平洋火山帯にありながら、体を感じる地震は年間を通じて約100回ほどです。

フィリピンの食文化



▲フィリピンの朝食といえば、これ。

主食はお米。お米は食事とデザートにも使います。お米は香りが豊かな食べ物と一緒に味わうのが一番なのです。味付けは塩辛くしたり甘くしたり。通常の朝食にはお米、塩味の卵サラダまたは目玉焼き、そして甘くて塩辛いお肉の料理ですね。あと、フィリピン人は柑橘類のカマンシ（ライムで味に変化をつけます）と一緒に魚のソース、辛い酢やしょうゆなんかを使って食べるのが大好きです。でも、私にとっての真の食べ方は、素手でバナナの葉にのせて食べることです。みなさん試したら分かると思います。

フィリピン人はまた、年中トロピカルフルーツを食べます。みなさんご存知の甘いバナナ、マンゴー、パイナップル、メロン、あともっとあります。フルーツシェークやアイスキャンディも好きですし、暑い日のデザートのハロハロもね。



▲フルーツ・シェーク



▲屋台の食べもの。みなさんフィリピンへ行ったらトライしてみてくださいね！例えば・・・

- ・バロット（孵化直前のアヒルのゆで卵）
- ・イサオ（ニワトリの腸）
- ・アディダス（ニワトリの足） などなど！



▲カマヤーンー素手で食べるスタイル

フィリピンの教育制度



▲公立学校での授業風景

ここで、フィリピンの教育制度についてお話します。

フィリピンの子どもたちは初等と中等教育で合計13年過ごしますー幼稚園1年、小学校6年、中学校4年、高校2年。しかし、私の時代は高校がありませんでしたので、私は16歳で大学に入学しました。2012年に、国際年間学校予定表いわゆるグローバルに合わせて2年延長となりました。（2012年に新教育制度導入）フィリピンでは、初等・中等教育は義務であり、公立学校は無料です。とても理想的で期待できることです。

しかしながら、貧しい家庭の子どもが多く教師の数も少ないため、教師 1 人に対し生徒は 35 人。最悪のケースは、特に一部の州では 1 つの教室に違う学年の 40～50 名の生徒を一緒にしている場合があります。

フィリピンは依然として教育に遅れをとってはいますが、質の高い教育を提供できる学校は国際的な場面でも本当にうまくやっけていける可能性があります。



▲公立学校の過密な授業風景

パール先生の学生時代



▲ガールスカウトのメンバーと…(^^♪

私は幸運にも、フィリピン大学（国立大学）で学びそして心身ともに成長することができました。私が学んだキャンパスは大学の教育学生のために実験校としての役割がありました。キャンパスへは週 4 日だけ（火曜日から金曜日）朝 7 時から午後 4 時まで通い、クラブ活動がある学生は午後 6 時か 7 時まで大学にいました。私はチアリーディングのメンバーでした。大学では通常の授業の数学や科学など学びますが、絵画や描画（美術の授業とは違います）、フィリピンの演劇、統計といった興味のあるコースもあります。

以前は、大学は 4 年制の 4 学期制で、6 月に始まり 3 月に終わりでしたが、2014 年よりグローバルに合わせて、8 月始業 5 月終業に変わりました。



▲ハーフタイムでのチアリーディング


学校の規則は日本と比べると全く厳しくありません。携帯電話の持参 OK、休み時間にお菓子を食べてよし（但し先生による）、昼食はお弁当持参でも学校の食堂でもどちらでも OK。いろいろ許されていましたが、髪形については厳しかったです。特に男子生徒については、眉毛・耳・制服の襟にはかかってはいけないと決められていました。それ以外は、学校生活は本当に楽しく、授業以外のさまざまな活動でいっぱいでした。体育祭、集団演技（1 群が 1 曲披露し他群と競います）、他の大学と一緒にの提灯行列、フィリピン・マンスなどなどの行事があります。



▲フィールド・デモンストレーション - 集団演技



▲クラスみんなでパフォーマンスを披露

「Filipino Month」と呼ばれている一環で演技を披露。 Filipino Month とは、フィリピンの言語や文化を祝うこと。民族の踊りや音楽をかけて演じます。クラスによっては伝統的な踊りや現代のフィリピンの踊りを披露するクラスもあります。とても楽しいんです！（^^♪

フィリピンの現在の状況



最後に、フィリピンの現状についてお話します。今、世界では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いろいろな対策がなされています。フィリピン政府は3月12日に社会を封鎖する宣言をし、首都でのすべての公共交通機関、学校、通勤を一時停止しました。買い物に行ける者は、外出許可証を持った家族の中で1人だけ。町中には要所に軍人が立っていて、マスクをしているか他の人と十分な距離を保っているかをチェックしています。そうしていない人は捕まります。全ての施設が（病院、スーパー、薬局は除く）閉鎖されています。仕事であるいは医療の必要がない限り他の都市へは行けません。

このような対策をとっていても、6月1日時点で感染者数は18,638に達しました（うち死者数960、回復者数3,979）。これらの数にもかかわらず、政府はいくつかの事業所・施設に再開を要請し、多くの団体は、政府が感染を封じ込めるために大規模な検査を行うべきだと抗議しています。しかし、政府はこの責任を、従業員のため自分たち独自のテストを実施するために、民間に移行しました。感染症の世界的流行が収束するまでには程遠いですが、フィリピンは懸命に感染拡大防止に取り組んでいます。



▲外出許可証を持って外出します



▲首都マニラのチェックポイントのひとつに
軍人さんが立っています…

日本では緊急事態宣言が解除され、学校が再開されました。しかし、気を緩めずに指針に従いましょう。そして常に手を洗うこと、ですね。みなさん、どうか無事に過ごしてくださいね。

編集室～



パール先生、フィリピンの紹介ありがとうございました(^^♪お疲れさまでした…(^-)-☆

海外旅行ができる状況になったら、ぜひフィリピンを訪れてみたいですね…😊

「他国を知って自国を知る」―「第2回 ハロー、世界の国からこんにちは！」はどの国になるでしょうか。

Keep safe everyone!



Stay alert by washing your hands regularly, using soap and water.

油断せずに、定期的に石鹸で手を洗いましょう。



ホワイトストーンジャーナルー国際交流 Newsletter Vol.161

国際交流協会主催のイベントや市内外国語指導助手（ALT）の投稿などを掲載しています。

ニュースレターは「白石市国際交流協会」のホームページで閲覧できます。

白石市国際交流協会

検索 🔍

<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/1/1245.html>